

ライフステージとリフォーム

Life Stage

年齢とともに家族のカタチや暮らし方は変わっていきます。住まいに合わせて暮らすのではなく、暮らし方に合わせてリフォームすると、暮らしやすさも住宅のクオリティも上がります。ライフステージの節目に、次の10年、20年を見据えて住まいを見直してみませんか？

リフォームの進め方とポイント

Flow and Points

リフォームの進め方をご紹介します。準備から見積り依頼、工事、さらに工事後も含めた流れに沿ってポイントを押さえ、安心して満足のいくリフォームを実現しましょう。困ったとき、迷ったときには消費者支援制度を活用ください。

30代

結婚・子育て

結婚、出産などを機に、住宅の購入を検討し始める時期。注文住宅よりリーズナブルに手に入れることができる既存住宅を購入して、家族に合った間取りやインテリアにリフォームする方法もおすすめ。既存住宅の購入費用とリフォーム費用をまとめた住宅ローンも登場しています。



40代

仕事・子育て

仕事もプライベートも多忙な時期だけに、使いにくい間取りや古くて使い勝手の悪い設備は日常的なストレスに。家事を効率的にこなせる動線や、手入れが楽な設備を取り入れてリフォームすると、毎日の暮らしに余裕が生まれます。空間の有効活用や収納の確保などもリフォームの得意分野です。



50代
60代

子どもの独立・老後への備え

家族構成の変化、定年退職などライフステージの大きな節目を迎える時期。肉体的にも精神的にも元気な時期に、住宅の傷みなどを修繕し、安心して暮らせる住まいにしておきたいものです。加齢に備えたバリアフリー化と同時に、耐震や断熱・省エネといった住宅性能も見直しを。そういった要件の整いやすい既存住宅への住み替えもあり。性能向上や二世帯住宅化など同居に向けたリフォームは、補助金や減税制度の対象です。

70代~

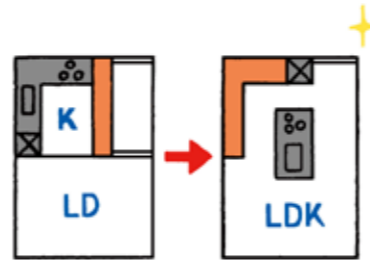
セカンドライフ

加齢によるからだの衰えが明らかになり始める時期。玄関や階段に手すりを設けるなど、住まいの要所でバリアフリーを取り入れて安全に。手すりの設置や段差解消など、小規模な住宅改修の費用が給付される介護保険や補助制度もあります。浴室暖房や断熱リフォームで家の中の温度差を小さくすることは、快適で健康な暮らしにもつながります。

既存住宅を買ってリフォーム



間取り変更



複数世帯同居



バリアフリー



〈流れ〉

1 事前の準備

START

〈ポイント〉

- 要望を洗い出す
- 目的と優先順位を決める
- 情報収集（戸建・マンションで異なることがある）
- 予算の目安をつける
- 各支援制度利用の検討

〈消費者支援制度〉

- 住まいるダイヤル（▶P.13、P.15、裏表紙）
- 地方公共団体における住宅リフォームに関する支援制度

2

2 見積りの依頼

- インспекション（住宅を診てもらう）
- 見積り依頼の準備
- 複数の業者に依頼
- 支払い可能限度額を確認
- リフォーム瑕疵保険利用の検討

- 住宅リフォーム事業者団体登録制度（▶P.11）
- 住まいるダイヤル
- リフォーム瑕疵保険（▶P.15、裏表紙）

3

3 依頼先を決める

- リフォーム提案と見積書の比較検討
- 不明な点を確認
- 総合的に判断する
- リフォーム瑕疵保険利用の手続き

- 住まいるダイヤル
- リフォーム瑕疵保険

4

4 工事内容の詳細を決める

- 家具や家電の配置を検討
- ショールームで実物を確認
- 見積りの調整と資金計画
- 各支援制度利用の確認

- 住まいるダイヤル
- 地方公共団体における住宅リフォームに関する支援制度

5

5 契約する

- 必要な契約書類と内容を確認
- 契約書を取り交わす

- 住まいるダイヤル
- 住宅リフォーム工事標準契約関連書式集（▶P.17）

6

6 工事

- 工事の際のチェックポイントの確認
- 現場で現場責任者と定期的に打ち合わせ
- 追加や変更がある場合は書面に残す

- 住まいるダイヤル

7

7 引渡し・メンテナンス

GOAL

- 工事後の手続き
- 竣工検査をする
- アフターメンテナンスの確認
- 契約書・図面・保証書を保管

- 住まいるダイヤル
- 住宅履歴情報（いえかるて）（▶P.17）

8

8 トラブルになったら（▶P.15）

〈トラブル時の相談先〉

- 住まいるダイヤル
- 消費生活センター
- 地方公共団体リフォーム相談窓口